

令和 6年10月22日

博士人材の民間企業における活躍促進に向けた検討会(第3回)

博士人材の活躍促進に関する アカリクの実践について



やまだ りょう

山田 諒

株式会社アカリク 代表取締役社長

1988年8月生まれ。神奈川県相模原市出身。

社員研修や人材育成、転職・就職支援等、HR経歴10年以上。
前職ではITエンジニアに特化した人材紹介事業を立ち上げ、100名規模に成長。自身は事業部長として新卒・転職エージェントとヘッドハンティング領域を管轄。

2021年4月より株式会社アカリク代表取締役社長に就任。



会社概要

会社名 株式会社アカリク

設立 2006年11月

資本金 1億1500万円

代表 山田 諒

所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-1-5 青山第一田中ビル2階

許可番号 有料職業紹介事業許可番号:13-ユ-304697

事業内容 採用・キャリア支援事業

- ① 大学院生、院卒社会人のための求人情報サイト「アカリク」の運営
- ② 新卒大学院生（修士/博士）・院卒社会人・ポストドクター・研究者に特化した人材紹介サービス
- ③ 就職・キャリア構築のための各種イベント・セミナーの企画運営

That's our mission.

知恵の流通の最適化

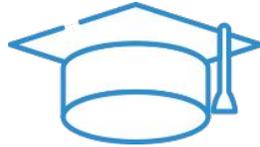
アカリクは、高度研究機関である大学院・その他研究機関において日々産み出される「知恵」を広く社会・産業界につなぐことで価値を創出し、「知恵の流通」の最適化に貢献していくことを目指します。

1. 当社の事業領域
2. 当社における博士採用の状況
3. 取り組みから見えてきた課題

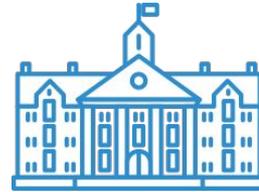
1. 当社の事業領域



企業



人材



大学



政府

「ジョブ型研究インターンシップ」事務局

研究・教育・キャリア支援事業

エージェントサービス事業

採用コンサルティング事業

採用コンサルティング事業



エージェントサービス事業



研究・教育・キャリア支援事業



大学セミナー

1on1相談会

Cloud LaTeX

「ジョブ型研究インターンシップ」事務局

Coop-J consortium
ジョブ型研究インターンシップ推進協議会

※文部科学省委託事業

産業界における博士のキャリアパス拡大の取り組み

委員提出資料1

就職・転職エージェントでのマッチング創出



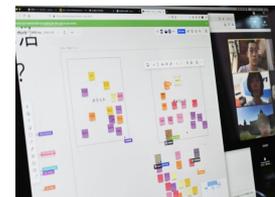
年間 2,500名以上の
大学院生、ポストクの
キャリア相談面談を実施

博士×企業の マッチングイベント



博士課程学生限定のイベントを企画

大学への就職ガイダンスや PBL教育等の提供



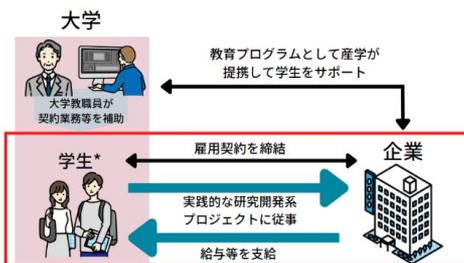
直近3カ年において
約4割が博士に特化
したコンテンツ

キャリアパス事例の発信

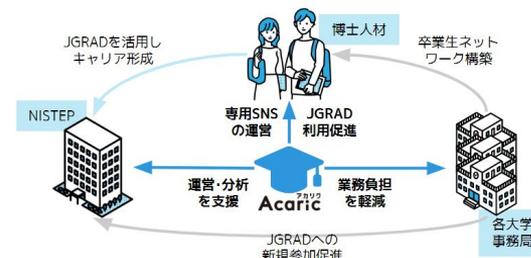


博士人材の民間企業での活躍事例など
キャリアパスをインタビュー記事で紹介

ジョブ型研究インターン シップ推進事業



JGRAD運営業務受託 (2022年度)



イノベーションサミット



面接だけではわからない大学院生の強みを適切に把握することができ、企業の課題解決も成功へと導く採用手法

(参考) <https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000197.000017667.html>

アカリクギルド



企業からのミッションに対して、大学院生が持つ知恵を活用し、課題解決を達成して報奨金を獲得してもらう仕組み

(参考) <https://acaric.jp/acaric-guild>

キャリア研究室



論文作成や科研費申請など大学院生活に活かせるノウハウから、大学院生の就職活動まで網羅的に学べるサービス

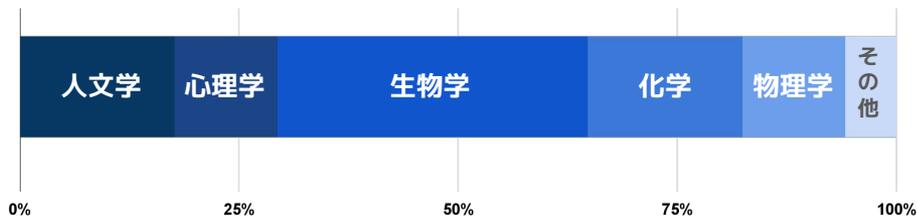
(参考) <https://acaric.jp/career-lab>

2. 当社における博士採用の状況

- ① 社員(86名)+内定者(6名)のうち
18.5%が博士課程経験者(17名)
9.8%が博士号取得(予定)者(9名)

- ② 研究分野を問わず博士人材を評価し採用

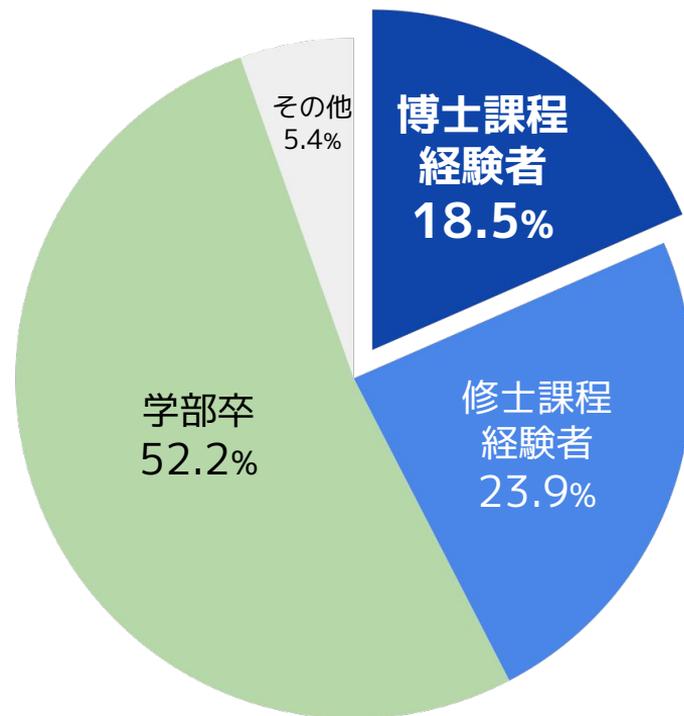
※人文社会系の割合：29.4%



博士課程経験のある社員の研究分野(内定者を含む)(n=17)

- ③ 新卒採用者のうち50%以上が博士課程学生

※内定当時の身分、直近3年間の実績に基づく



最終学歴別の社員構成(内定者を含む)(n=92)

④ 研究分野を問わず新卒の博士課程経験者は初任給で月給31万円

対象には博士課程の修了者だけでなく、満期退学/単位取得退学の方も含みます。

※参考：修士課程修了 月給28万円、学部卒 月給25万円

⑤ 「博士手当」制度

博士の学位を有する方には給与に加えて**毎月30,000円**を支給しています。

⑥ 就業しながらの研究活動もサポート

学会／研究会休暇制度、フレックスタイム&ハイブリッドワークなどにより、就業しながら学位取得のための研究活動、論文執筆、学会発表も歓迎しています。

また、副業や兼業も認めているため、例えば博士課程経験のある社員の中には、大学や研究所で非常勤講師や客員研究員などの身分を持つ方もいます。

アカリクで活躍している博士人材（抜粋）

委員提出資料1



セミナー講師

神中 俊明

東京理科大学大学院 理学研究科
物理学専攻 博士課程修了
博士（理学）

大学や研究所での博士研究員（ポスドク）を経て、2018年にアカリク入社。現在は年間30校以上で大学院生向けキャリアガイダンス、ワークショップ、企業向けセミナー等を担当。



大学連携担当

浅岡 凜

東京大学大学院 理学系研究科
生物科学専攻 博士課程修了
博士（理学）

私立・国立大学の教育系センターで講師や准教授として教育開発等に携わった後、2023年にアカリク入社。現在は大学向けキャリア教育の提供、大学との連携強化などを担当。



政策企画担当

吉野 宏志

筑波大学大学院 人文社会科学研究科
文芸・言語専攻 一貫制博士課程
単位取得退学

2016年に新卒としてアカリク入社。特任助教として国立大学への出向も経験。大学や研究所でも兼務中。現在はジョブ型研究インターンシップ推進事業や政策との連携強化などを担当。

[所感] アカリクで活躍する博士人材が身につけている素養

- ❑ **難易度の高い課題に向き合い続ける覚悟と揺るがない決意がある**
- ❑ **数字をもって良し悪しを判断し、リスクや危険性を客観的に提示できる**
- ❑ **キャッチアップのスピードが速い**
- ❑ **研究活動において、自ら課題設定して進めるなど、自走力がある**
- ❑ **単に思考を深めるだけでなく、実行にもスピード感があり試行錯誤が速い**
など

3. 取り組みから見えてきた課題

① 「博士人材」の共通認識がうまく形成されていない

② 事業と直結しない専門の博士人材の活躍が見えにくい

③ 博士人材の採用意欲がある企業はまだまだ少ない

博士人材を深く広く「知ってもらう」活動を展開

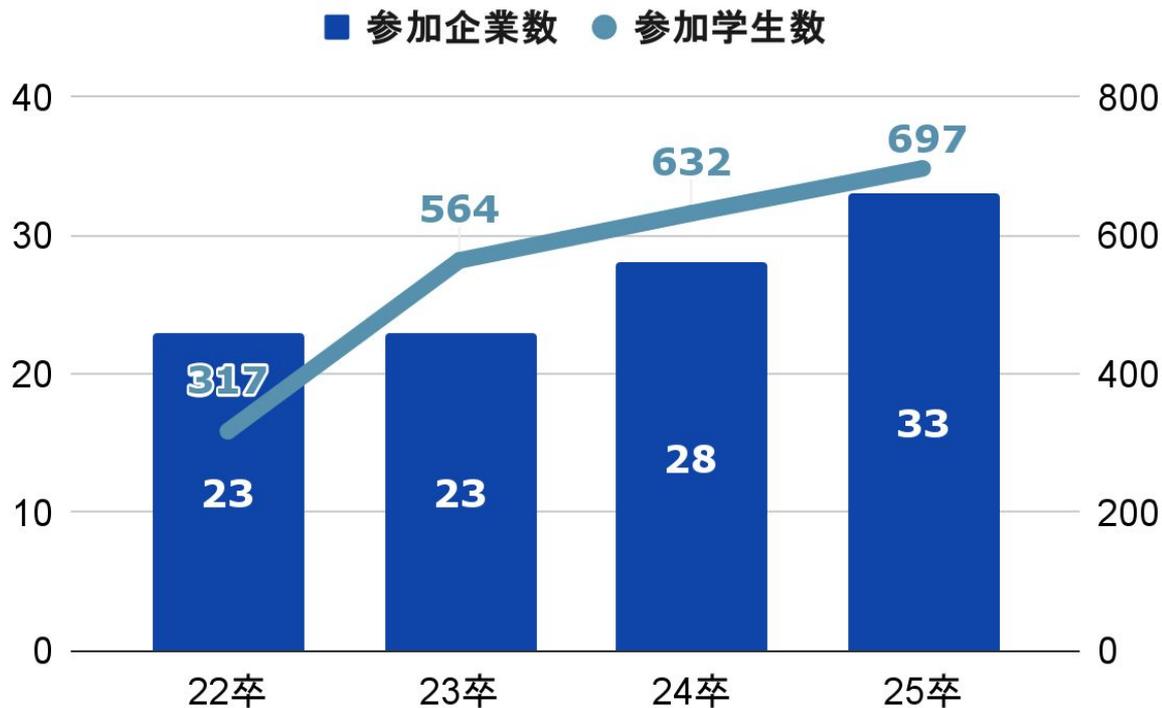
<企業>

PBL等を通じて実際に課題へ取り組む様子や成果を体感する機会を提供

<大学・学生>

全国的な動向や他大学での事例などを個別の情報交換やセミナー講演で提供

アカリクの博士・ポスドク限定イベントの推移

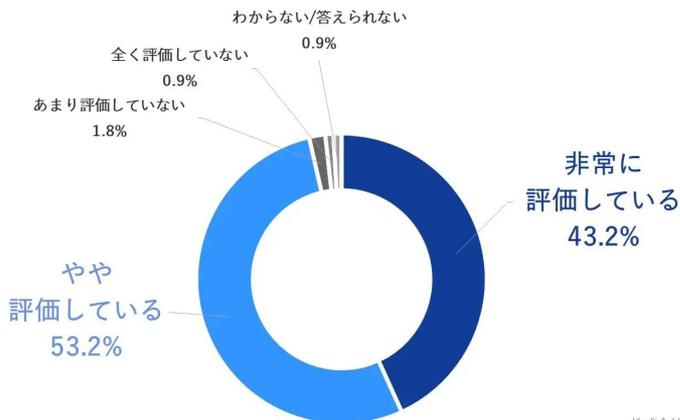


参加企業の主な種別

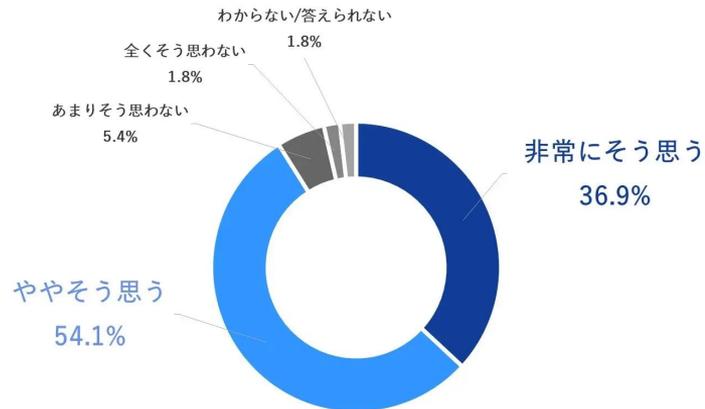
- ▶ 製薬メーカー
- ▶ 総合化学メーカー
- ▶ 半導体メーカー
- ▶ AI/IT企業

(2022年卒～2025年卒対象「アカリクイベント」の博士・ポスドク限定イベントの集計推移データから作成)

Q1 博士人材を同僚に持つあなたは博士人材を評価していますか。



Q9 今後も博士人材と仕事をしたいと思えますか。



▶ **43.2%** が博士人材を高く評価している

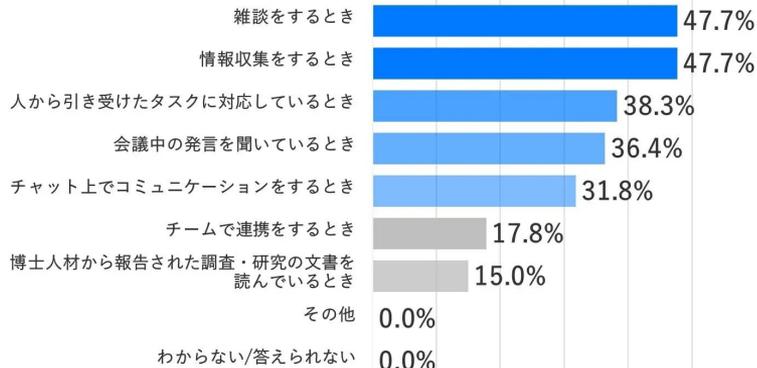
▶ **36.9%** が博士人材と仕事をしたい

(出典) 株式会社アカリク (2024) 「同僚から見た博士人材に関する実態調査」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000215.000017667.html>

専門性だけではない魅力や期待がある

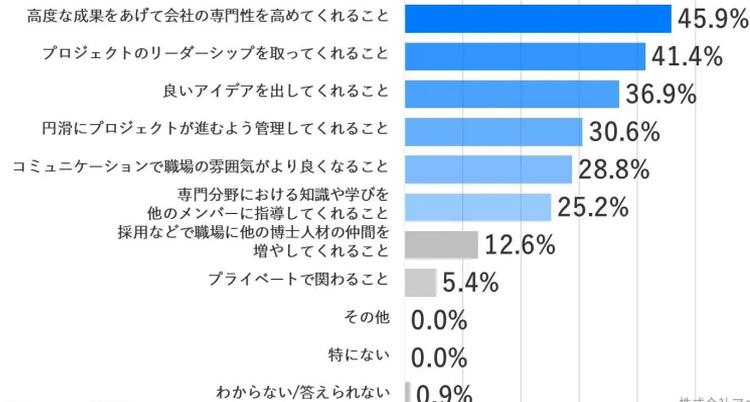
Q4

同僚の立場から実感する博士人材の良さを感じる場面を教えてください。（複数回答）



Q6

博士人材と働く上で、今後期待していることを教えてください。（複数回答）



▶ **直接のやり取り** で魅力が伝わる

▶ **組織や成果への貢献** を期待されている

（出典）株式会社アカリク（2024）「同僚から見た博士人材に関する実態調査」

<https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000215.000017667.html>

産業界の悩み

- 技術革新とともに**事業課題が高度化**し続けている
- 「答えのない問い」に向き合い続けられるような**知的な粘り強さ**のある人材が欲しい など

(学術だけでなく) **事業課題・組織課題も**
博士の力を最大限活用して解決できる

ということを **企業** と **博士人材** にもっと体験してもらいたい
そして、**大学** にはそうした活動に力を貸していただきたい

アカリクの活動で
得られた裏付け

イノベーションサミットや**アカリクギルド**
などで博士人材が実際に企業の抱えている
課題を解決して採用でも成果を出している

自社でも博士人材を積極採用することで
高度人材のマッチング支援という難易度
の高い課題解決で結果を出し続けている

「知恵の流通の最適化」を理念に掲げるアカリクは

**高度化する経営課題に、
博士とともに挑みます。**



[お問い合わせ・取材依頼]

下記フォームに必要事項をご記入の上お問い合わせください

<https://acaric.co.jp/contact/>

本資料に記載された内容は資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。株式会社アカリクの許可なく本資料を複製、配布、譲渡することは強く禁じられています。本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権は株式会社アカリクに帰属し、事前に株式会社アカリクの書面による承諾を得ることなく、本資料に修正・加工することは強く禁じられています。